

「ちよつといーけ？」も10周年！——山内紀子

「みんなと倶楽部・掛塚」が発足し、活動報告や掛塚の歴史の他、奉仕作業やイベントなどの情報発信のため、年に4回広報紙を発行することになりました。その際、歴史や難しい話が少し苦手な方（私達を含む）にも楽しみにしていただけるように、賑やかだった頃の掛塚を知る方々に、当時のお話を聞いて紹介しようと思われたのが「ちよつといーけ？」のコーナーです。

あれから10年。コロナ禍で訪問できない時期もありましたが、これまでに三十人の方々をご紹介することができました。

戦中戦後の物のない時代、子どもたちは工夫を凝らし「無いもの」は作り、年長者が年少者を見守る中で自然に思いやりやルールを覚えていく。その環境が、知恵や創造力、人と人とのつながりを豊かにし、それは今も皆さんの中にあるのだと感じました。

当時の商店街で買い物かごを手に井戸端会議に花を咲かせるお母さんたちや、「帝国館」に映画やお芝居を見にくる人達、宣伝の為に町を練り歩くチンドン屋の後をついて回る子供たちの笑い顔を思い浮かべ、ワクワクさせていただきました。

当時帝国館でアルバイトをしていた井熊さんには外観や建物内の絵を描いてもらい、想像していたモノクロの景色に色を添えてくださいました。

これまで快くお話を聞かせてくださった皆様、資料の提供やこのコーナー以外でもご協力くださった皆様、このコーナーを楽しみにして下さっている皆様、すべての皆様に感謝申し上げます。

実はインタビューアーの私たちも、来年はいよいよ還暦。

そろそろ「聞く側」から「語る側」になる日も近いのかもしれませんが、そのとき胸を張って話せる何かがあるように、これからの時間も丁寧に重ねていきたいと思えます。

私たちにお話を聞かせてくださる方、自薦他薦は問いません。是非ご連絡をお待ちしております。



お知らせ

●ホームページができました！

みんなと倶楽部のホームページとインスタグラムを開設しました。ホームページでは活動報告やイベントの告知、広報紙のダウンロードができますので、是非活用してください。



ホームページ



Instagram

●10周年記念誌と記念クリアフォルダー

記念誌とクリアファイルを、津倉邸の公開時に呈いたします。

是非、お立ち寄り下さい。公開日はホームページとインスタでお知らせします。※クリアファイルは数に限りがあります。無くなり次第終了となります。

フリーマーケット
Flea Market

3月20日(金)
10:00-17:00

おまるとん
静岡県静岡市葵区668
駐車場有

中町 稲勝家の住宅見学&フリーマーケット



令和7年度「みんなと倶楽部 掛塚」10周年記念事業開催に寄せて

鈴木彰

みんなと倶楽部
My hometown Kaketsuka

第40号

P4	P3	P2	P1
お知らせ	「ちよつといーけ？」も10周年——山内紀子	10周年記念集會の様子	令和7年度「みんなと倶楽部掛塚」10周年記念事業開催に寄せて——鈴木彰

皆様方の温かなご支援とご協力を賜り、「みんなと倶楽部掛塚」はお陰様で設立10周年を迎えることができました。この節目の年、掛塚の歴史を次世代へ繋ぐべく実施した記念事業の歩みをご報告したいと思えます。

●華やかな幕開け「大名行列 i n 掛塚」

10周年記念事業は、令和7年4月26日の「いわた大祭り 大名行列 i n 掛塚」で鮮やかに幕を開けました。磐田市制20周年を記念し、本来は見付で行われる大名行列が掛塚で開催されるという、歴史的な機会に恵まれました。

当日は磐田市長をはじめ総勢百名の行列が練り歩き、西光寺の参道は掛塚祭以上の見学者で埋め尽くされました。この圧倒的な熱気は、10周年のスタートにふさわしい感動的な光景となりました。

●文化財の保存と地域への開放

5月には、旧津倉家住宅への「国登録有形文化財」プレート設置と案内看板のお披露目を行い、歴史的価値を改めて世に示しました。夏には毎週土日に津倉邸の公開や小中学生を対象とした自由研究相談や写生会を開催、9月からはこの歴史的価値の高い旧津倉家住宅を「地域おこし協力隊」の活動拠点「かけらポ」として活用する試みがスタート。10月の掛塚祭に合わせた公開も含め、津倉邸

が地域に開かれた場所へと進化を遂げた1年でした。11月には御厨・鎌田地区の社寺や古墳を巡る静岡県文化財保存協会の研修会に参加し、三重県桑名市の「六華苑」への視察見学会を実施して、他地域の文化財保存の在り方を学びました。

また、12月には津倉邸西側の天竜川堤防に手摺り付きの階段が完成しました。これにより懸案だった駐車場への導線が確保され、来訪者を安全にお迎えできる体制が整いました。年末には会員手作りの豪華な門松が並び、新年を祝う「餅つき会」では五臼の餅を参加者の皆様と一緒に、地域の方々との楽しい交流のひとつを過ごしました。

●10周年の集大成「記念集會」

一連の事業の締めくくりとして、2月21日になぎの木会館にて「10周年記念集會」を開催いたしました。2月の冷え込みを感じさせない穏やかな日和の中、磐田市長をはじめ多くのご来賓をお迎えすることができ、これまで活動を支えてくださった皆様に直接感謝をお伝えする貴重な場となりました。

特筆すべきは、この集會を支えた会員の連帯感です。長年の活動を通じて培われた「あうんの呼吸」は、指示を待たずとも自発的に役割を全うするスムーズな運営を実



案内看板除幕式



10周年記念集會 準備打ち合わせ

お問い合わせ

ご興味のある方は下記までご連絡ください！
☎ 0538-66-4775 (名倉)

みんなと倶楽部
My hometown Kaketsuka



- 会長 池田藤平
- 事務局 名倉慎一郎、大沢利行
- 編集 轟田茂巳、山内紀子、鈴木小百合

10周年記念集会の様子

たくさんの方に起こしいただき、ありがとうございました。
今後も応援、ご協力をお願いいたします。



メンバー全員で協力して会場の準備をしました。



沢山の方に起こしいただきました



市内外から多くの方に起こしいただきました



ロビーの記念展示も好評でした



草都市長の挨拶



みんなと倶楽部 掛塚 会長の挨拶



掛塚屋台囃子保存会によるお囃子の演奏



富田氏の記念公演
「徳川家康と豊臣秀吉
〜掛塚を中心に〜」



事務局長 名倉慎一郎による報告
「みんなと倶楽部・掛塚の10年」



地域おこし協力隊 かけらボによる提言
「これからの掛塚」

会員・賛助会員・ボランティア会員募集！

「みんなと倶楽部・掛塚」は、湊町掛塚の歴史を刻んだ貴重な文化財を守り、郷土の文化遺産として後世に引き継いでいくことができるよう、旧津倉邸の維持管理に協力しながら、掛塚地区が活気のあるまちになるための活動を展開していこうと考えています。私たちと一緒に活動していただける方を募集しています。是非、ご参加ください。



正会員

運営・企画に携わっていただきます。年会費 3,000円をお願いします。

賛助会員

会を側面から支えて頂きます。会への行事も自由にご参加ください。1口 1,000円の年会費となります。

ボランティア会員

会の事業・イベントに、いつでも気軽にご参加ください。会費はありません。小・中・高校生の方も気軽に参加してください。

振込先はこちら

静岡銀行 竜洋支店
普通預金 0439697
みんなと倶楽部地域づくり
会計 新村京子

名倉慎一郎

「みんなと倶楽部の10年」

平成28年から活動を始めたみんなと倶楽部は、この3月で満10年を迎えました。この間、多くの皆様に支えられて、大きく育てていただくことができ、ありがたく思っております。ここまで続けてこられた要因を考えますと、一つには幸運に恵まれたこと、二つ目には多くの人たちとつながりがもてたこと、三つ目には、この地域の先人たちの命がけの努力があったことも忘れてはいけません。ことだと思えます。

幸運であったというのは、私たちの活動が、文化財行政の変化にピタリと重なったことが大きかったと思えますが、更に行政機関の応援もいただいでスムーズな活動が出来たのだと思えます。

しかし、何よりも多くの人たちに支えられてきたことが、私たちの大きな力になっていくことは確実です。令和元年の「都市計画家協会」の皆さんが当地を訪れ、町並みを見学した後、いろいろなアドバイスを頂いたことは、まちづくりを始め、たばかりの私たちに「目からうろこ」の衝撃でした。そして、そのつながりで「しずおか町並みゼミ」への参加も実現し、令和6年には当地で開催する事ができました。

まちづくりは、何よりも若い人たちが、子供たちにまちの価値を伝えていく事が大切だと思えますが、地元の竜洋西小、竜洋中学の児童生徒さんたちが、私たちの活動に参加してくれています。西小は2・3・6年生のほぼ全員、中学は3年生の有志がボランティアとして毎年延べ100人程参加してくれています。

また、この会を立ち上げたことで、他地域のたくさんの方々から掛塚に関する情報が寄せられています。一例を挙げると、伊勢の大湊から貴船神社にある船の設計図の奉納額を調査にきた方々と情報交換をするようになり、令和5年にはその船が修理された造船所の跡を訪ねました。その他たくさんの方の情報を得ることができましたが、私たちの会がなかったら掛塚

の歴史の多くも埋もれてしまったかもしれません。

右の例は、掛塚の廻船が大湊で造られたり、修理されたりしていたことを物語っていますが、このように遠く離れたところから寄せられる情報がたくさんあります。たとえば、伊豆石の情報が伊豆から、掛塚の情報が愛知県の北設楽から、木挽について信州から、東京の木場からは掛塚から運ばれた材木のことなど、広い地域と交わりを持っていただくことを示している、荒海の中を、遭難の危険を冒して交流した貴重な成果であったと言えるでしょう。

私たちは、これからも先人の築いたこの地の文化を守り伝えながら、この地域がさらに活性化していくことを目指して活動していこうと思えます。



伊勢大湊 視察



旧津倉邸一般公開



小学生の「わくわくどきどきまち探検」



小学生の掛塚まち歩き